

# 令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

受験番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題番号の欄は必ず記入すること。

技術部門	部門
選択科目	
専門とする事項	

問題番号	Ⅲー
------	----

← 解答する問題番号（1又は2）を点線の枠内に必ず記入すること。  
○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1	多面的な課題
(1)	いかに子育てしやすい都市環境を整備するか
	<p>近年、遊ぶこどもの声への苦情やベビーカーの移動時に肩身の狭い思いをする等子育てしづらい状況にある。これらは、こどもの遊び場の減少や安心して子育てができる生活空間の欠如が要因と考えられる。快適な子育てには、こどもや子育て世帯の目線に立った都市空間の形成が必要である。よって、都市づくりの観点から、子育てしやすい都市環境の整備が課題である。</p>
(2)	いかに地域交流を生み出す空間を創出するか
	<p>女性の社会進出が推進され、共働き世帯は年々増加している。他方で、共働き世帯の増加によって、親同士・地域住民との交流機会が減少し、子育て世代が地域から孤立することが懸念される。そのため、地域コミュニティを再構築し地域全体で子育てを支えていくことが求められる。よって、体制面の観点から、地域交流を生み出す空間の創出が課題である。</p>
(3)	いかに仕事と両立できる市街地を形成するか
	<p>新しい生活様式の定着に伴い、多様な働き方が実現している。しかし、育児は多くの時間を要するため、フルタイムでの就労やキャリアを築くには困難が多い。このような時間的制約を小さくするため、都市機能の集約を進め、就労と子育て機能を近接させることが重要である。よって、ダイバーシティの観点から、子育てと仕事が両立できる市街地の形成が課題である。</p>

●答案用紙の解答欄の枠内に記載した解答のみ採点対象とします。

24 字×25 字

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

<u>2 . 最 も 重 要 な 課 題 と 解 決 策</u>																								
都市環境の改善は、社会意識の変化も促すことが期待できるため「いかに子育てしやすい都市環境を整備するか」を最重要課題に選定し、以下に解決策を示す。																								
<u>( 1 ) 都 市 構 造</u>																								
こどもをベビーカー等に乘せて移動する際、目的地が離れていると身体的・心理的な負担がかかる。そのため、コンパクト＋ネットワークを形成し快適な子育てを実現する。具体的には、立地適正化計画を策定し、都市機能誘導区域を設定する。これにより、医療や商業、子育て支援施設を集約し歩いて暮らせる街を形成する。併せて、地域公共交通計画を策定し、拠点間を結ぶように公共交通網を再構築する。このような都市構造により、子育てしやすい生活空間を形成する。																								
<u>( 2 ) 公 園 づ く り</u>																								
<u>① こ だ も の 遊 び 場 の 確 保</u>																								
公園内にこどもの遊び場を確保するため、公園の画一的な利用ルールを見直し、公園を柔軟に管理運営する。例えば、公園協議会を設立し、公園管理者と地域住民によるパークマネジメントを推進する。ボール遊びに関するルールの策定等、公園毎の実情に応じたルールの弾力化により、こどもの遊び場を確保する。																								
<u>② P - P F I</u>																								
都市公園の子育て環境を向上させるため、P - P F Iを導入する。例えば、公園内に保育所等の子育て支																								

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

援	施	設	を	設	置	す	る	。	併	せ	て	、	授	乳	ス	ペ	ー	ス	や	お	む	つ	交
換	が	可	能	な	ト	イ	レ	等	を	具	備	し	、	こ	ど	も	を	連	れ	て	訪	れ	や
す	い	公	園	と	す	る	。	加	え	て	、	事	業	者	に	カ	フ	ェ	等	の	収	益	施
設	を	併	設	さ	せ	る	こ	と	で	、	公	園	サ	ー	ビ	ス	の	質	を	向	上	さ	せ
る	と	と	も	に	、	収	益	の	一	部	を	公	園	整	備	に	還	元	さ	せ	、	公	的
負	担	の	軽	減	も	図	る	。	こ	れ	ら	に	よ	り	、	公	園	の	魅	力	向	上	と
子	育	て	機	能	の	充	実	を	図	り	相	乗	効	果	を	生	み	出	す	。			
(	3	)	道	づ	く	り																	
	こ	ど	も	を	連	れ	て	安	全	に	移	動	で	き	る	歩	道	を	整	備	す	る	。
例	え	ば	、	歩	行	者	利	便	増	進	道	路	制	度	を	活	用	し	、	歩	行	者	と
自	転	車	を	分	離	さ	せ	た	上	で	、	幅	員	3	m	以	上	の	歩	道	を	整	備
す	る	。	歩	行	者	利	便	増	進	施	設	に	は	、	ベ	ン	チ	や	上	屋	等	の	休
憩	機	能	を	具	備	す	る	と	と	も	に	、	道	路	占	用	許	可	を	活	用	し	、
沿	道	事	業	者	に	よ	る	テ	ラ	ス	営	業	を	可	能	と	す	る	。	さ	ら	に	、
滞	在	快	適	性	等	向	上	区	域	の	併	用	に	よ	り	、	区	域	内	の	道	路	に
つ	い	て	駐	車	場	出	入	口	の	設	置	を	制	限	し	、	歩	行	者	と	車	の	輻
輳	を	抑	制	す	る	。	こ	れ	ら	に	よ	り	、	こ	ど	も	や	こ	ど	も	連	れ	に
と	っ	て	、	居	心	地	が	よ	く	歩	き	や	す	い	空	間	を	形	成	す	る	。	
3	.	新	た	な	リ	ス	ク	と	対	応	策												
	コ	ン	パ	ク	ト	シ	テ	ィ	化	に	よ	り	、	都	市	の	利	便	性	が	高	ま	る
こ	と	で	地	価	が	向	上	す	る	。	そ	の	結	果	、	郊	外	地	へ	の	人	口	の
に	じ	み	出	し	や	ス	プ	ロ	ー	ル	化	誘	発	の	リ	ス	ク	が	あ	る	。	対	応
策	と	し	て	、	居	住	調	整	区	域	の	設	定	に	よ	り	市	街	地	の	拡	散	を
防	止	す	る	。	こ	れ	に	よ	り	、	自	然	生	態	系	の	保	全	と	い	っ	た	波
及	効	果	も	生	じ	る	。	以	上														